



た牧夫「ユール・トムテ Jultomte」がいました（豊穰のシンボルである山羊を連れて現われ、子供たちにプレゼントを配って歩く）。

こうやって見ますと、キリストの誕生を祝うクリスマスを表わす語にもさまざまな思い入れや背景があることがわかり、ここにも「ことば」の豊かさを感じ取ることができます。



## こころの栄養

豊田図書館 村上康廣

今から3年ほど前のこと、日本私立大学連盟が発行している『大学時報』という雑誌の中で、強く心に残る一文に出会った。それは京都の同志社女子大学のある先生が講義の中で話された言葉として紹介されたものだった。「読書をしなさい。毎日の食事の細かな中身を記憶せずとも栄養になっていくように、読んだ本の内容は忘れても教養の積み重ねとなっていく」とあった。大学生生活の思い出として

この言葉を大切にしているという卒業生の声の引用だったが、私は“言い得て妙”と感服した。

それ以来、図書館が実施するガイダンスの中で同じような趣旨の話をするようになった。ゼミの学生諸君が感想の中で、「これからはもっと読書したい」とか、「図書館をもっと活用したい」というようなことを書いてくれるのを見ると、すぐ調子にのって、また次回もという気持ちになるのである。

去る10月27日、そんな私にとって嬉しい出来事があった。福岡ダイエーホークスの日本シリーズ優勝である。私は正真正銘のダイエーファンで、ずっと昔からダイエーの前身である南海ホークスのファンだったのである。

私は何故自分が南海ホークスのファンになったのかを考えてみた。それには確かな理由があった。かなり古い話になるが、私は小学校低学年の頃から野球少年だった。夜はナイターの実況放送にかじりつき、朝は早くから起きて、スポーツ欄を読むために新聞の配達を待っていた。昼はといえば近所のわんぱくたちと一緒に草野球に熱中。布製のグラブ、キャラメルのおまけを貯めて手に入れた景品のボール。バットには何処かで調達してきた棒切れを使った。

読書とは殆ど縁のないような少年時代の生活だった。けれども『野球少年』という雑誌だけは愛読していた。その雑誌の中で、当時、南海ホークスの名三塁手として活躍していた蔭山和夫という選手の物語を読んだ。彼は大阪の旧制中学を卒業し、早稲田大学を経て南海ホークスに入団。走、攻、守の三拍子そろった南海のトップバッターとしてその名を知られていた。

『野球少年』で語られた蔭山選手の話というのは、「旧制中学時代の彼は小柄だったので、何とか身長を伸ばそうとして、通学の電車の中ではいつも爪先立ちを実践していた」というものだった。ほかにも彼の精進ぶりが書かれていたのだが、私が憶えているのはこの事だけである。しかし、この物語を読んで感動した私は蔭山選手が好きになり、彼が所属する南海ホークスのファンになったのである。そして半世紀を経た今もなお、律義にファンを続けているのである。

この体験は前述の言葉を裏づけるものという訳ではないが、何か相通じるものがあるように

思うのである。蔭山選手の物語は「ひたむきに努力する姿は美しい」、「一生懸命頑張れば、必ずいつかは実を結ぶ時が来る」ということを、この野球少年に教えてくれたと思うのである。

図書館というところは、いわば心の栄養の宝庫である。図書館員である私たちは、より多くの皆さんが図書館を利用し、思う存分に知的栄養をつけて欲しいと心から願う次第である。

#### \*蔭山和夫 (1927.1.16~1965.11.17)

1950年南海に入団。翌1951年には打率.315を打ち、新人王に選ばれた。在籍10年の内、パ・リーグ最多三塁打を4回記録。ベストナイン2回。引退後、コーチとなり、1962年5月鶴岡監督の後を承けて、代理監督に就任、シーズン終了まで務める。1965年正式に監督に就任したが、1週間後に急死した。1試合17塁打はパ・リーグ記録。『プロ野球人名事典』（日外アソシエーツ）



## 最近の著作権に関する報道に接して

名古屋図書館 小倉久美

あふれかえる情報、情報化、国際化社会において、あらゆる分野、あらゆる形態、あらゆる情報、何の惨澹たる苦労もなく、技法、手段も悩みなく、収集に自由自在の今日日々である。私的に肌で感じている事なのですが、私が身を置く環境(営利を目的にしない集団)において、著作権法を意識しつつ、意図的に資料を利用する人なんて、殆どいないと思われる。何の考えもなし、何ら法律なんかに触れていないと思って行動をおこしているのではないのでしょうか? 日本経済新聞 '03.7.30 日の記事において「大学 LAN 使う音楽交換に No」学生違法コピーに学校側苦慮とある。音楽データのやり取りが、違法とは知らずに指摘され驚いた様子だったという。私はこれが現状でほとんどの学生に当てはまると考えられる。又、03'6.27 朝日新聞において「カメラ付き携帯電話での無断撮影に「困った」美術館」とある。内容は、カメラ付き携帯電話の普及で 小型で簡単に撮れることがあり 罪の意識が薄れるせい!とある。手軽で構えることなく「写真撮影禁止」とあっても、作品を本格的にとっているという意識がないのではないのでしょうか? 著作権法では作者の死後 50 年までしか保護期間が設けられていない。「撮影者に著作権が新たに発生し、所蔵品の写真が一人歩きする可能性もある」と懸念している。日進月歩 進歩している現在、機具 機械 技術 等文明の発展が従来なら考えられなかった事が可能になり、又、新たな問題が生じ 社会に問い掛ける。「アメリカ 12歳少女がネット上音楽をダウンロードし違反」こういったニュースを最近聞いた様に思える。朝日新聞 '03.9.9 「ネットでの音楽交換「違法」米レコード協会、261人提訴」云々。このような事件もこれから 日本でもありうるだろうし(日本音楽著作権協会によると、日本では、曲を提供する個人を民事訴訟した例はないという)誰でもがなりうる身近な問題だと考えられる。同じく朝日新

聞 '03.7.12 「ネット不正画像検出 無断掲載を「監視」富士通研が新システム」 ネット上で、最近、人気アイドルの写真集を無断掲載 有名人の写真や企業のロゴなど一部修正した画像事例が多くあるという。

この様に 最近、著作権に係わる事件 情報をよく見、よく聞くにいたり、一体 義務教育の指導要領カリキュラムはどうなっているのだろうか！ 手っ取り早く インターネットで検索してみた。はっきりいって教育の現場での実態が見えてこない。しかし、著作権を含め知的所有権の教育は現役大学生に接するに、受けていないように感じられる。何時でも、誰でも（ますます低年齢化）が、著作権にかかわる現場に出あってしまう機会も増えるのではないでしょうか。折りにふれ、小さい子どもの段階から 学習するほうが望ましく感じる。教育の舞台は解らないが、言葉は知っていても、著作権法なんか知らない まさか 自分が犯しているなんて露も考えず、行動しているケースがあるのではないだろうか！ これも該当するのかと初めて知る人もいるだろうし！ 痛切に知識が必要な事も知った。困難で複雑 思い悩む事も！ この文書を書くにあたって、ひょっとしてこれが著作権侵害？ 法に触れていないか！ 一つ一つ考えてしまう。個人個人の心構えを植え付けるためにも教育は必要だと考える。21世紀我々を取り巻く環境は益々 激化 進化し 技術の進歩に伴い キーひとつで何でも可能 又 キーひとつで破壊にまで陥ってしまう時世。

ひきつがれた知的財産を、後世に伝えるべき 一人一人責任を持ち 熟慮し、慎重に行動しなければならない。こんなはずではなかったのに、まさか著作権法に違反してしようとは！ に成らないよう、教育の必要性を叫び、 各人の自覚 勉学に期したい



## 本学教員著作の寄贈図書

『中小企業政策論 政策・対象・制度』 中京大学経営研究双書 No.21  
経営学部 寺岡寛 先生著 出版社 中京大学経営学部  
所蔵館 LSC 請求記号 335.35 / Te59

『福祉国家・スウェーデンの労使関係』 中京大学経営研究双書 No.19  
経営学部 猿田正機 先生著 出版社 中京大学経営学部  
所蔵館 LSC 請求記号 366.5 / Sa69

『金融商品会計論 キャッシュフローとリスクの会計』  
経営学部 吉田康英 先生著 出版社 税務経理協会  
所蔵館 LSC 請求記号 336.9 / Y86

## ベストリーダー (10月～11月)



【名古屋図書館】 卒業論文やゼミ研究に有効な資料が豊富にそろっています。

(貸出)

復刻日本の雑誌	P051 / Nz
企業と人材・人的資源管理	P049 / Ge
日本ファジィ学会誌	P401 / Nf
中部の経済	332.15 / Ka
Handbook of parenting	367.3/H29/4

(閲覧)

心理学研究	P140 / Sk
教育心理学研究	P371.4/Ks
日経ビジネス	P336.1/Nb
心理臨床学研究	P146 / Sr
関西大学社会学部紀要	P051/Kd - k

【豊田図書館】 このほか時事問題を扱う資料の利用も多くみられました。

(貸出)

別冊宝島	P049/Bt
現代のエスプリ	P049/Ge
地球の歩き方	913.6/Y97
全解 SPI 実践問題集	307/Sh99/2004

(閲覧)

心理学研究	P140/Sk
関節外科	P494.77/Kg
臨床スポーツ医学	P780.19/Rs
Perceptual and motor skills	P141.2/Ms

【LSC】 全体的に入館者数、貸出し冊数が増えています。村上春樹著「海辺のカフカ」や、よしもとばなな著「ハゴロモ」などは長い間、人気です。

(貸出)

Just good friends	837.7 / C14 / 14
Anne of Green Gables	837.7 / 093 / 24
The piano	837.7 / 093 / 40
(↑Oxford Bookworms Library シリーズ 他多数)	
日本古典文学全集	918 / N71 / 21
海辺のカフカ	913.6 / Mu43 / 1
エスカルゴムック	P049 / EM / 2003
ナニワ金融道	338.7 / A53 / 10
ハゴロモ	913.6 / Y91

【法学文献センター】 官報附録「週報」のほか、レポート参考文献の利用が増えました。

(貸出)

週報	P317/Ss/1937
刑法各論講義	326.2 / Ma26
日本の歴代知事	318.2 / R25/3-2
刑法各論	326.2 / I 18

(閲覧)

金融・商事判例	P328.1/Sk
家庭裁判月報	P327.123/ks/1984
商法の争点	P325/Ss/1993
法律のひろば	P320/Hh

※ 特に利用の多い資料については太字表記となっています。



# 新着図書セレクト

『真の読書法とは何か。答えは簡単である。  
気分が向けば、書を手にとってこれを読む。ただそれだけのこと。  
読書を心から楽しむには、どこまでも気の向くままでなければならない。』

by 林語堂

10・11月の新着図書の中から、お薦めの本を紹介します。



『研究のすすめ方』（日比野正己編・阪急コミュニケーションズ）  
請求記号:002.7/H 54 所蔵:LSC

.....  
テーマの選び方、準備と計画方法、研究生活の工夫、論文の書き方、発表手順が、これ1冊でわかる。すべての「研究する人・したい人」のための完全ガイド。

## 『キャリアアップのための発想支援の心理学』

（海保博之、松尾太加志共著・培風館）

請求記号:141.5/Ka 21 所蔵:TL

.....  
頭を効果的に使って鋭く豊かな発想を！認知心理学からヒントを得て、ビジネスや日常生活のさまざまな場面で、状況にあわせた最適な発想を生み出すための頭脳活用法を提案。



『ねじれた家帰りたくない家』（原田純著・講談社）

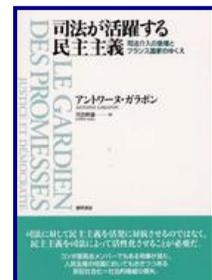
請求記号:289.1/H 32 所蔵:TL

.....  
どうしてこうなってしまったのだろうか？この家に、私に、出口はあるのだろうか？著名な雑誌編集長の父のもとでもがき苦しんだ子ども時代、おびえ続け、荒れくるった思春期、青春期を真っ正直にふり返る。

## 『司法が活躍する民主主義』（アントワーン・ガラボン著・勁草書房）

請求記号:327.935/G 21 所蔵:LL

.....  
本書は、元判事によって書かれたものだが、司法のあるべき姿だけを問題にしたものではない。現在司法の問題点の背後にあるのは、なによりも民主主義の変容であり、政治を抜きに今日の司法は語れない。政治哲学を展開しつつ、同じく、元実務家らしく、司法の将来像について具体的な提言にまで踏み込むものである。





『「体をゆるめる」と必ず健康になる』(高岡英夫著・マキノ出版)

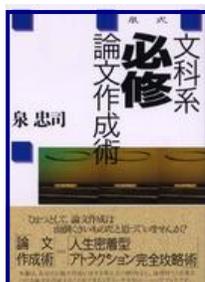
請求記号:498.3/Te 49 所蔵:LSC

ガチガチに固まった体を瞬時にゆるめる「ゆる体操」で、こりや痛み、疲れが解消し、うつやイライラも晴れてくる。立ったまま、座ったまま、寝たままできる超簡単リラックス法を公開。

『クラブ文化が人を育てる』(荒井貞光著・大修館書店)

請求記号:780.13/A 62 所蔵:TL

学校・地域の混迷、競技力の低迷は、「チームワーク」「リーダーシップ」「スポーツ文化」を支える『クラブ文化』の喪失が背景にあることを指摘。学校の部活軽視、地域の総合型クラブ突出の思潮、風潮に警鐘を鳴らす。



『泉式文科系必修論文作成術』(泉忠司著・夏目書房)

請求記号:816.5/1 99 所蔵:LSC

ひょっとして、論文作成は面倒くさいものだと思いませんか？本書は、あなたの論文作成に対する考え方の誤りを正し、論理的で人を惹きつける論文を作成することができるようコーチするトレーニングブックです。

『正しく美しい日本語のしくみ』(倉島長正著・日本実業出版社)

請求記号:815/Ka 55 所蔵:TL

あなたはすてきな日本語を使っていますか？よい文章、正しい話し方が身につく本。



『青銅の騎士』(プーシキン著・群像社)

請求記号:982/P 97 所蔵:LSC, TL

荒れ狂う洪水の波に愛する人を奪われて、ついに狂気の人となった男は、人工都市の創造者として君臨する青銅の騎士像との対決に向かっていた…。

※所蔵の【NL】は名古屋図書館、【LSC】はライブラリー・サービス・センター  
【LL】は法学文献センター、【TL】は豊田図書館です。

## 図書館カレンダー

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

2 月						
日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29						

3 月						
日	月	火	水	木	金	土
	①	②	③	④	⑤	⑥
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

4 月						
日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

■ の開館時間（9:00～16:00）

○ の開館時間（平日 9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30）

■ は休館日です。

1 月 17 日(土) 豊田図書館のみ開館(入試センター試験のため)

2 月 1 日(日)～4 日(水)、7 日(土) 入試のため閉館

3 月 8 日(月)～13 日(土) 蔵書点検のため閉館

3 月 19 日(金) 卒業式のため閉館

4 月 1 日(木) 入学式のため閉館

### 編集後記

新春早早、クリブニュースを、お届けします。

戦争、青少年のおこす犯罪など悲しい話題が目立った 2003 年。そんな世の中を見ザル、言わザル、聞かザルではなく、自身の目で、耳で、体で考える 2004 年でありたいものです。

図書館のご利用お待ちしております。